

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月1日 (2013.8.1)

【公表番号】特表2012-532107(P2012-532107A)

【公表日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-053

【出願番号】特願2012-517823(P2012-517823)

【国際特許分類】

C 07 D 491/20 (2006.01)

A 61 K 31/407 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

A 61 P 25/24 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 25/18 (2006.01)

A 61 P 25/08 (2006.01)

A 61 P 1/02 (2006.01)

A 61 P 13/10 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 25/06 (2006.01)

A 61 P 17/04 (2006.01)

A 61 P 3/06 (2006.01)

A 61 P 13/08 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 21/04 (2006.01)

A 61 P 21/00 (2006.01)

A 61 P 25/22 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

【 F I 】

C 07 D 491/20 C S P

A 61 K 31/407

A 61 P 43/00 1 2 3

A 61 P 25/04

A 61 P 25/24

A 61 P 9/00

A 61 P 11/00

A 61 P 25/00

A 61 P 25/18

A 61 P 25/08

A 61 P 1/02

A 61 P 13/10

A 61 P 1/04

A 61 P 25/06

A 61 P 17/04

A 61 P 3/06

A 61 P 13/08

A 6 1 P 19/02  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 21/04  
 A 6 1 P 21/00  
 A 6 1 P 25/22  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

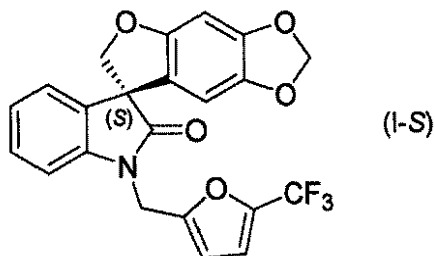
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の式 (I - S) :

【化 7】



を有する 1' - { [ 5 - (トリフルオロメチル) フラン - 2 - イル ] メチル } スピロ [ フロ [ 2 , 3 - f ] [ 1 , 3 ] ベンゾジオキソール - 7 , 3' - インドール ] - 2' ( 1' H ) - オンの ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグ。

【請求項 2】

薬学的に受容可能な賦形剤および請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマーまたはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、薬学的組成物。

【請求項 3】

疼痛、鬱病、心血管疾患、呼吸器疾患、精神医学的疾患、神経学的疾患および癲癇発作、ならびにこれらの組み合わせからなる群より選択される、哺乳動物における疾患もしくは状態を処置するための組成物であって、治療上有効な量の請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、組成物。

【請求項 4】

前記疾患もしくは状態は、疼痛である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記疼痛は、神経障害性疼痛、炎症性疼痛、内臓痛、癌性疼痛、歯痛、化学療法性疼痛、外傷性疼痛、手術疼痛、陣痛、神経因性膀胱、潰瘍性大腸炎、慢性疼痛、持続性疼痛、末梢媒介性疼痛、中枢媒介性疼痛、慢性頭痛、片頭痛、副鼻腔性頭痛、緊張型頭痛、幻肢痛、および末梢神経損傷、ならびにこれらの組み合わせからなる群より選択される、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記疼痛は、HIV、HIV 処置誘導性神経障害、熱感受性、サルコイドーシス、過敏性

腸症候群、クローン病、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、掻痒症、高コレステロール血症、良性前立腺過形成、糖尿病性ニューロパチー、末梢神経障害、関節リウマチ、変形性関節症、発作性ジストニー、筋無力症症候群、ミオトニー、悪性高体温、嚢胞性線維症、偽性アルドステロン症、横紋筋融解症、双極性鬱病、不安、統合失調症、ナトリウムチャンネル毒素関連疾患、発作性エピソード性疼痛障害、癌、癲癇、部分のおよび全身的な強直発作、不穏下肢症候群、不整脈、発作もしくは神経外傷によって引き起こされる虚血状態、頻拍性不整脈、心房細動ならびに心室細動からなる群より選択される疾患または状態に関連する、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記疼痛は、三叉神経痛、疱疹後神経痛、ユージニア ( e u d y n i a )、家族性肢端紅痛症、原発性先端紅痛症、家族性直腸痛または線維筋痛症から選択される、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 8】

哺乳動物における疾患もしくは状態を、該哺乳動物における電位開口型ナトリウムチャンネルを介するイオンフラックスの阻害によって処置するための組成物であって、治療上有効な量の請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、組成物。

【請求項 9】

哺乳動物における細胞の電位開口型ナトリウムチャンネルを介してイオンフラックスを低下させるための組成物であって、請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、組成物。

【請求項 10】

哺乳動物における掻痒症を処置するための組成物であって、治療上有効な量の請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、組成物。

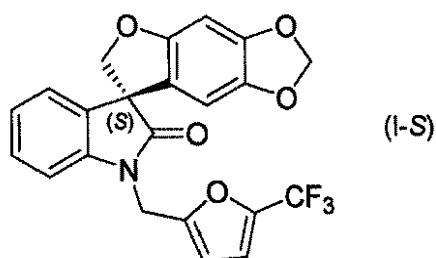
【請求項 11】

哺乳動物における電位開口型ナトリウムチャンネルの阻害によって哺乳動物における疾患もしくは状態を処置するための組成物であって、請求項 1 に記載の ( S ) - エナンチオマー、またはその薬学的に受容可能な溶媒和物もしくはプロドラッグを含む、組成物。

【請求項 12】

以下の式 ( I - S ) :

【化 7】

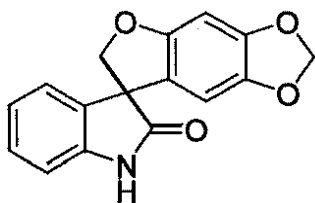


を有する 1' - { [ 5 - (トリフルオロメチル) フラン - 2 - イル ] メチル } スピロ [ フロ [ 2 , 3 - f ] [ 1 , 3 ] ベンゾジオキソール - 7 , 3' - インドール ] - 2' ( 1' H ) - オンの ( S ) - エナンチオマーを調製する方法であって、

ここで、該方法は、

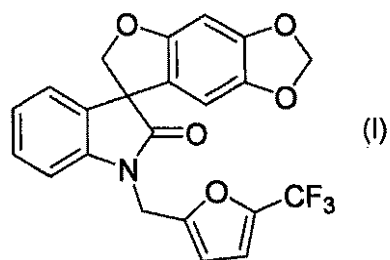
( a ) 以下の式 :

【化 8】



の化合物を、適切な条件下で 2 - ブロモメチル - 5 - トリフルオロメチルフランで処理して、式 ( I ) :

【化 1】



の化合物を形成する工程；および

( b ) 該 1 ' - { [ 5 - ( トリフルオロメチル ) フラン - 2 - イル ] メチル } スピロ [ フロ [ 2 , 3 - f ] [ 1 , 3 ] ベンゾジオキソール - 7 , 3 ' - インドール ] - 2 ' ( 1 ' H ) - オンの ( S ) - エナンチオマーを、適切なキラル高圧液体クロマトグラフィー条件または適切な擬似移動層クロマトグラフィー条件によって式 ( I ) の化合物から単離する工程  
を包含する、方法。